

平成26年度 教員表彰報告

本年度は、7名の推薦があり、次の7名を表彰者と決定いたしました。

No.	氏名	学校名	職名	性別	表彰内容
1	稲葉 佳代子 (55)	菅小学校	総括教諭	女	児童支援コーディネーターとして、全校児童が安心して学校生活を送ることができるように環境整備、年間計画、職員研修計画、具体的な対応に当たっている。児童を見る目が的確であり、ぶれない指導体制の中で、問題行動をとる児童、被害を受けた児童、また保護者との面談等においていずれも的確に行っていることから、児童・保護者・教職員からも信頼が厚い。
2	渡邊 晴美 (51)	東柿生小学校	総括教諭	女	これまでも長年にわたり児童生徒理解、指導、保護者対応等において高い能力を発揮してきたが、平成24年度から児童支援コーディネーターとして地域にも積極的に働きかけ、「子どもを見守る地域の教育力」を大きく向上させ、本市の児童支援コーディネーター設置校のモデルにもなっている。「校内全ての子どもの教育的ニーズに応じ、全ての子どもに支援を」の考えに立ち、定期的にケース会議を開くなどして組織の問題解決能力の向上や活性化を図っている。
3	天川 美章 (57)	富士見中学校	総括教諭	男	現任校では生徒指導主任として生活面の指導だけでなく、悩みを抱えた生徒への相談にもきめ細かく対応している。また、本市で33年間に渡り相撲を通して生徒の育成に努め、関東大会や県大会で団体戦優勝の実績を数多くあげている。各大会の運営や練習会、研修会を通して若手指導者の育成にも取り組むとともに、少子化の影響で相撲人口が減少する中、川崎市内の選手人口は増加し続け、相撲を通して中学生の体躯の強化と精神面の成長に大きく貢献している。
4	武井 信一 (55)	西中原中学校	総括教諭	男	現在、3学年の生徒12クラス（480名）の指導を入学時から学年主任として取り組んでいる。学年の教員集団をまとめ、生徒指導においても数多くの事案に的確に関わり安心安全な学年運営に取り組み、大規模校（約1500名）の秩序を保つ大きな役割を担っている。物事を常に広い視野で捉え、冷静沈着かつ寛容な心の持ち主である。穏やかな人格の中にも責任感と厳格さを持ち、生徒を良い方向へ伸ばさせる支援に尽力しており、生徒をはじめ教職員や保護者からも信頼が厚い。
5	由良 文隆 (59)	菅生中学校	総括教諭	男	理科教育において生徒の関心意欲を高める授業を地道に行い、長年にわたり授業実践や研究成果を研究会で発表することで理科教育の推進に尽力し、子どもたちの理科離れの改善に大きく貢献している。また、進路指導主任として、生徒一人一人の卒業後の進路についての相談に丁寧に取り組み、適切な指導を行っている。
6	佐久間 雅彦 (58)	長沢中学校	総括教諭	男	理科教育において生徒たちに科学的思考力、判断力、表現力の育成に努めるため、授業方法の改善に取り組んでいる。博物館や科学学習センター等とも連携し、自然科学への関心を高め、科学的に探究する態度の育成にも取り組んでいる。また、夏休み等を利用した校外での自然科学体験講座を継続的に実施するなど、川崎の理科教育において良き模範となっている。
7	中島 克己 (58)	橘高等学校 定時制	教諭	男	部活動指導において前任校から野球部の顧問として熱心な指導に携わり、数年間にわたり市大会優勝、県大会準優勝の実績をあげてきた。現任校でも18年間廃部状態だった野球部を復活させ、結成2ヶ月で市大会優勝、県大会準優勝の成績を収め、多くのマスコミの注目を集めることとなった。定時制に通う生徒たちに「やれば出来る！」を実感させ、夢と希望を持つことの大切さを伝えることで学校全体の活性化に大きく貢献している。